



ASAHIYAMA ZOO

旭山 どうぶつえん ニュース

モユク★カムイ

★モユク・カムイ
(アイヌ語でエゾタヌキ
のことです。)

きびしかった冬も去り、
北の大地にも春がやってきました。
カタクリやエゾエンゴサクの花が咲き、
ヒメギフチョウが可憐に舞う姿を
見せてくれるのももうすぐです。

そして動物園が開園しました。
新しい生命と
新しい仲間たちと共に・・・

I

今年、
アムールヒョウが
来園する予定です。
非常に貴重な動物で
国際保護動物に
指定されています。
Panthera pardus orientalis

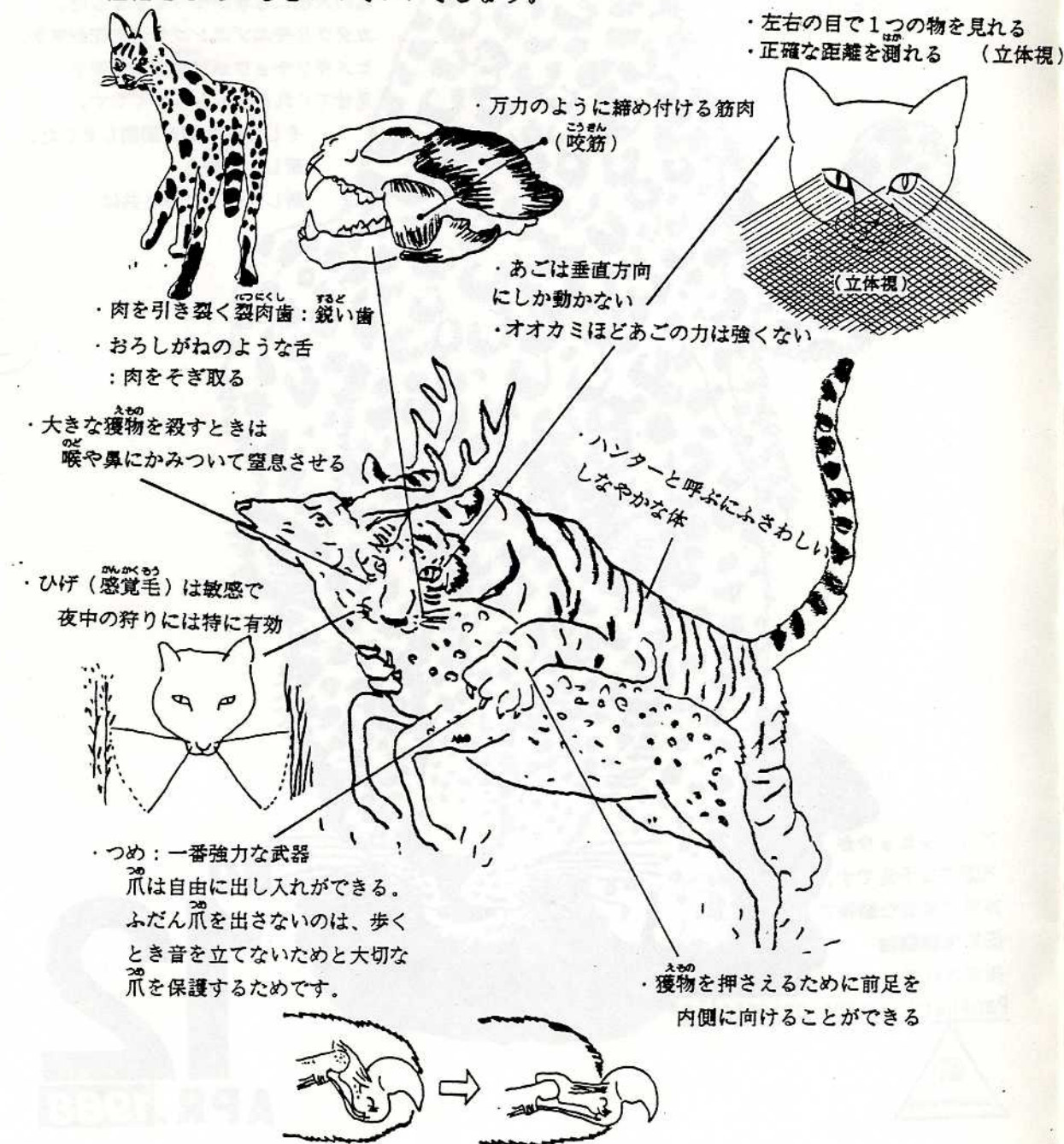


NO.
12
APR. 1988

特集・ネコ

★1988年は肉食動物の特集を組みました
★1回目は「ネコ」です。
.....☆

ペットの代表的なものはイヌとネコでしょう。イヌ科の動物は全て群れを作り順位を決め、それぞれの役割を持ちかなり高度な社会的生活をしています。一方ネコ科の動物はそのほとんどが単独で生活し、他の個体から干渉されることをとても嫌います。このように同じ食肉目に属していてもイヌ科の動物とネコ科の動物とはまるで正反対の性格をしているといっているいいでしょう。



旭山動物園のネコ

●シベリアオオヤマネコ

Felis lynx lynx

斑紋の少ない体色は針葉樹林や沼地にとけこみます。

深い雪の中で生活するため長い足を持ち、寒さへ適応するために尾は短く足の裏は厚い毛でおおわれています。

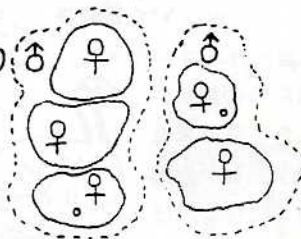
●オセロット *Felis pardalis*

ジャングルの中に住み、主に鳥を食べていますが生態はよくわかっていません。

毛皮がたいへん美しいために乱獲され絶滅が心配されています。

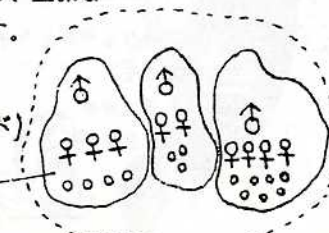


●トラのなわばり



●ライオンの群れ(プライド)

・サブプライド



1988 みどころマップ

……この土曜日もってさあ出発……

☆マークは新しい仲間。

③ マークは赤ちゃんや子どものいる動物です。

⑫ サル山

① アカゲザル

3月末に2頭の赤ちゃんが生まれました。

⑭ ワシ舎

・オジロワシ

・オオワシ

・クマタカ

春にはよく鳴きます

⑤ 小動物舎

・ウォンバット

☆オセロット

② アライグマ

・アカハナグマ

・アフリカタテガミヤマアラシ

オセロットがきました。オスは上野動物園、メスは千葉市動物公園生まれです。

正門

① ベニイロフラミンゴ

☆チリーフラミンゴ

宮崎市との観光盟約締結を記念してフェニックス自然動物園からチリーフラミンゴが2羽贈られました。

② 水とり池

・オオハクチョウ

・コハクチョウ

・コブハクチョウ

・コクチョウ

・クロエリハクチョウ

・マガン

・ヒシクイ

・マガモ

・カルガモ

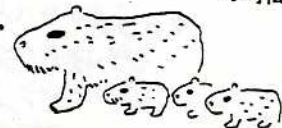
・カワアイサ など

春は水鳥たちの繁殖シーズン。あちこちで卵を抱えています。ヒナを連れて歩くようになるのは6月に入ってからです。



③ カピバラ

11月20日に生れた赤ちゃん3頭、とってもかわいく初登場。



④ ゴマフアザラシ

去年生れた子供もずいぶん大きくなりました。餌の時間は午後1頃です。

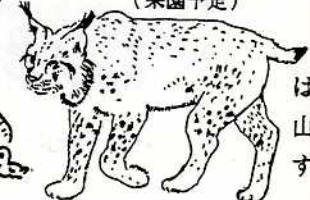
⑥ フライングゲージ

・アカリュウキュウガモ

・コガモ

・トモエガモ

・オシドリ



⑦ ワビチ

新しいペアになりました。

・シンリンオオカミ

・チュウゴクオオカミ

・ヒグマ

☆シベリア

オオヤマネコ

☆アムールヒョウ

(来園予定)

シベリアオオヤマネコは昨年7月6日札幌市円山動物園で生れたメスです。

⑨ フクロウ

・ワシミズク

・シロフクロウ

・エゾフクロウ

・トラフズク

・オオコノハズク



⑩ エゾリス

・ユキウサギ

エゾリスが赤ちゃんをくわえて出てくるかも知れません。☆クマゲラ

⑪ 野鳥

・オオアカゲラ

・アカゲラ

・クイナ

・バン

・キレンジャク

・カラ類

・ツグミ類



クマゲラが展示されました。日本最大のキツツキです。

⑫ ダチョウ

・エミュー

⑬ 猛獣舎

・アムールトラ

・ライオン

⑭ ホッキョクグマ

2ペアとも今年は、赤ちゃんの期待がもてるかも？

⑮ チンパジー

長女リノ 7才

長男リキ 3才

一番可愛い盛りです。

⑯ フタコブラクダ

秋田市大森山動物園生

れのオス『マル』も大きくなり、メスのチビととも

に仲良しです。

⑰ ツル・キジ舎

・オオカナダヅル

・アネハヅル

・クジャク

・サンケイ

・キンケイ

・ハッカ

⑱ エゾシカ

6月中旬に3頭出産予定

です。

⑲ ロールランドゴリラ

・マリ(メス)

・ゴンタ(オス)

⑳ アフリカゾウ

・アジアゾウ

卵の重さ

ダチョウ 約1500g

エミュー 約800g

㉑ カバ

㉒ キリン

メスのタミコは3才、2度目の旭川の冬を過ごしました。背も伸びて、少しタミコに近付きました。

㉓ アムールトラ

㉔ ライオン

㉕ ホッキョクグマ

㉖ チンパジー

㉗ フタコブラクダ

㉘ ツル・キジ舎

㉙ エゾシカ

㉚ ロールランドゴリラ

㉛ アフリカゾウ

㉜ アジアゾウ

㉝ ダチョウ

㉞ エミュー

㉟ カバ

㊱ キリン

㊲ アムールトラ

㊳ ライオン

㊴ ホッキョクグマ

㊵ チンパジー

㊶ フタコブラクダ

㊷ ツル・キジ舎

㊸ エゾシカ

㊹ ロールランドゴリラ

㊺ アフリカゾウ

㊻ アジアゾウ

㊼ ダチョウ

㊽ エミュー

㊾ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴリラ

㊿ アフリカゾウ

㊿ アジアゾウ

㊿ ダチョウ

㊿ エミュー

㊿ カバ

㊿ キリン

㊿ アムールトラ

㊿ ライオン

㊿ ホッキョクグマ

㊿ チンパジー

㊿ フタコブラクダ

㊿ ツル・キジ舎

㊿ エゾシカ

㊿ ロールランドゴ

動物園界の話題

遺伝子の管理

今年、旭山動物園に念願のアムールヒョウが入園することとなりました。オスはフィンランドのヘルシンキ動物園から、メスはアメリカのセンターヒルからやってくる予定です。アムールヒョウは世界中で16の動物園に62頭しか飼育されていません。希少動物ほど野生から導入された個体は少なく、今までに登録された167頭のうちたった22頭、現在生存しているものでは4頭しかいません。このような動物では繁殖を重ねるうちに血のつながったもの同志での交配が続かちになり、病弱な子が生れたり、妊娠しないといった近親交配の障害がでてきます。

アムールヒョウについては飼育されている全ての個体がアメリカのリバーバックス動物園で血統登録されています。当園では血統登録者の助言を得て、できるだけ血縁関係のない組み合わせのペアとなるよう、先の2ヶ所の動物園から導入することにしました。野生の個体数が減少し絶滅が心配されるいま、野生群と飼育群との遺伝子の交換も真剣に考えていかねばならず、動物園にとって遺伝子の管理がますます重要なことになってくることでしょう。(K)



獣医室から

ご飯を食べさせられた小鳥



雪解けも進み、小鳥たちの声も賑やかになってきました。南の国で冬を過ごした鳥たちも帰ってきます。この季節になると弱ったりけがをした小鳥がたくさん保護されて動物園に運ばれてきます。このような鳥たちは、人間につかまったことで強いショックを受けてます。動物園での最初の手当ては、安静にして落ち着かせてやることです。そして餌を食べさせます。けがを治すことよりも難しいことなのです。

去年のことです。虫を食べる小鳥なのにたくさんのご飯を食べさせられた小鳥が運ばれてきましたがやはり死んでしまいました。もし皆さんが弱った小鳥を保護したらまず安静にして、餌をやるときには十分食べ物のことを調べてから与えて下さい。動物園に相談して下さいもいいですよ。(B)



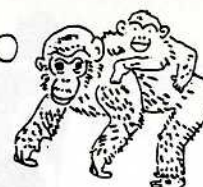
ポストコーナー

動物園あてのお手紙がたくさん来ています。励ましのお便りや貴重な御意見など、私たちにとてもうれしいものばかりです。今回からその一部を紹介させていただくコーナーをもうけました。

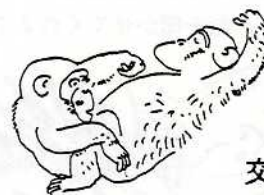
私は人間家族という番組を見て、『動物園のおじさんはすごくたいへんだな!』と思いました。私の家では一年前までマルチーズを飼っていましたが、でも目が見えないので自由にうごけないために心ぞうを悪くして死んでしまいました。私はすごくかわいそうでした。お母さんに『また犬を飼いたい』と言ったら『せわができないからだめ』と言われました。でも、『春になったら小鳥をかおうね』とお母さんがいつてくれました。私は『犬でないから少しいやだったけど、動物を飼うことができるのでよかった』と思いました。私は動物となかよくできる飼育係のおじさんがうらやましいです。これからも動物のお世話や研究をしてください。

陵雲小学校 3年 岸波 円

旭山ZOOの記録 飼育研究レポート



チンパンジーを飼育して



昭和42年の開園以来21年がたち、世代交代が進む中でチンパンジーのメス『ゴクウ』はインドゾウやカバ、ニホンザルなどと共に数少ない開園世代の一員です。

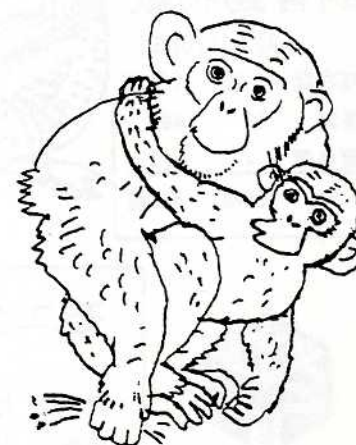
現在旭山動物園には『ゴクウ(24)とキーボ(20)』夫婦、長女『リノ(7)』、長男『リキ(3)』の4頭家族がいます。全国的にもチンパンジーの繁殖が少ない中、ゴクウが2頭の子供を出産し、自分で育て、家族そろって生活していることは、私たち飼育係にとって、このうえもない喜びです。

チンパンジーの妊娠期間は約8ヶ月で、出産の間隔は平均して3年2ヶ月です。去年の夏ごろから次の出産の準備に取りかかりまし

た。まずしなければならないことはゴクウとリキを分けることです。いつもいっしょに寝ていたお母さんと離すのはかわいそうなのですが食事の問題があるためどうしてもやらなければなりません。最初はギャーギャーと泣きさけんでいましたが次第になれ、今では昼間は家族いっしょにいますが、夜は4頭とも別々の部屋で寝るようになりました。食事の問題とは、ゴクウがリキの分の餌まで食べてしまい太り過ぎてしまうからです。妊娠中の太り過ぎは母体にとってとても危険なのです。

9月の末、ゴクウに発情がきたのでキーボといっしょにしました。子供たちはとても仲が良くいつも楽しく遊んでいます。リノはそろそろ思春期(?)に入り、リキはわんぱくまっさかりといった頃です。4月の体重はゴクウ55.3Kg、キーボ65.8Kg、リノ33Kg、リキ18Kgでした。ゴクウの体重が平常よりもかなり重いので、もしかしたら妊娠しているのではないかと、毎日注意深く観察を続けています。

(曾我部)





動物園日誌

【昭 62.12.21 ~ 63.4.10】



お知らせ

ワンポイント・ガイド

5月8日から毎週日曜日の11時
動物のお話し会があります。
動物舎の前で飼育担当者がとっ
ておきの話を聞かせてくれます。



ワンポイント・ガイド

昭和63年 予定表

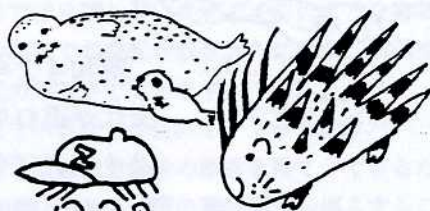
- 5. 8 アザラシ
- 5. 15 アライグマ
- 5. 22 ホッキョクグマ
- 5. 29 アフリカゾウ
- 6. 5 カバ
- 6. 19 エゾシカ
- 6. 26 動物園のお医者さん
- 7. 3 鯨の話
- 7. 10 フタコブラクダ
- 7. 17 ウォンバット

- 12.24 ワビチ、オス死亡
- 1.12 エゾシカ市内宮前通りにて保護
- 1.16 ホッキョクグマ右前足にけが
- 1.18 旭山動物園飼育研究会
- 「ヨーロッパの動物園その1」坂東
- 1.20 シベリアオオカミ歯槽膿漏の治療
- 1.21 ウミガラス、留萌支庁から保護 (22.24)
- 1.28 キリンの運動場の外周修繕
- 2. 2 北海道教育大学旭川分校
- 付属小学校3年生 冬の動物園見学
- 2. 3 同付属小学校4年生 冬の動物園見学
- 2.11 アライグマ出産

旭山動物園飼育研究会

「ヨーロッパの動物園その2」坂東

- 2.16 シベリアオオカミ死亡
- 2.24 骨折で入院していたエゾシカ群れへ帰す
- 3. 5 オオタカ骨折 (12 死亡)
- 3.11 旭山動物園飼育研究会
- 「アザラシの人工哺育」高橋
- 3.13 勤労青少年ホーム飼育実習
- 3.22 旭川市写真クラブ 冬の動物園撮影会
- 3.28 ウォンバット 濃瘍の手術
- 4. 2 アカハナグマ出産 (7 赤ちゃん死亡)
- 4. 3 開園準備作業開始
- 4. 7 シンリンオオカミ出産 (死亡)



ウォークラリー

動物クイズを解いて動物園を一
まわり。6.9.10月に1回ずつ予
定しています。
難問、珍問いろんな問題があり
ますよ。

★パベル展

動物資料展示館にて特別展を実
施しています。
第1回は『動物園の台所 (Part2)』
で、6月まで展示しています。
動物たちの食 事について解説
しています。



★作品募集

- 児童動物画コンクール 4.29~8.20
 - 動物園パンフレットぬりえ 4.29~6.30
- たくさん応募して下さい。

☆HBCラジオ公開生放送

5月5日

「ちびっこ歌まね大賞」

歌に自信のある子はぜひ出場して下さい。

飼育動物数

(3月31日現在)

哺乳類	41種	173点
鳥類	83	400
爬虫類	4	21
計	128種	594点



編集後記

今年も動物園は楽しい行事をたくさん計画しています。
ぜひ動物園にきて動物園を楽しんで下さい。
また、皆さんの意見を紹介させていただくコーナーも
用意いたしましたので、どんどん投稿して下さい。お待ち
しております。(K)



モユク・カムイ

No. 12

昭和63年 4月29日

発行所 旭川市旭山動物園

〒078 旭川市東旭川町倉沼 Tel 0166(36)1104

編集人 菅野 浩

編集委員 小菅正夫 阿部 寛 坂東 元